

第 1018 圖



もがし
 一名 づくのき・しらすき・はぼそのき・しいどき
 誤稱 ほるとのき
Elaeocarpus decipiens Hemsl.
 (= *Prunus elliptica* Thunb.;
E. elliptica Makino.)

暖地ニ生ズル常緑喬木ニシテ往々大樹ト成リ高サ約
 ソ20m、幹徑60cm許ニ達ス。葉ハ互生有柄、一見やまも
 もニ近キ外觀ヲ有シ、時々緑葉中ニ赤變セル老葉ヲ雜
 エ、狭長ナル長橢圓形或ハ倒披針形ニシテ長サ6-12
 cm許、兩端尖リ低鈍鋸齒アリテ生時稍軟ク乾時革質
 ト成リ全ク無毛平滑、裏面中脈ノ兩側支脈腋ニ特殊ノ
 蹼膜アリ、中脈ハ裏面ニ隆起シ往々紅紫色ヲ呈ス。總
 狀花序ハ脱葉後ナル前年枝ニ腋生シ、細長ニシテ六月
 小白花ヲ開ク。萼ハ五片、綠色廣披針形ニシテ尖ル。
 花瓣亦五片、倒卵狀楔形ニシテ上部剪裂ス。雄蕊ハ多
 數アリテ短花絲ヲ有シ、葯ハ細長クシテ先端彎シ細
 毛アリ。果實ハ核果ニシテ橢圓形ヲ成シ長サ15mm内
 外、兩端鈍圓形、初メ綠色、冬ニ入り熟シテ黒碧色ヲ
 呈シ、核ハ大ニシテ表面ニ皺アリ。從來一般ニ之レヲ
 ほるとのきト稱ヘシハ誤ニシテ、此名ハおろ一ぶ即チ
 齊墩果ニ對シテ呼ビシ者ナリ。和名もがしハ薩州ノ方
 言、其意未詳、づくのき其意不明、しらすキハ材白キヲ
 以テ白木ノ意乎、はぼそのきは華狭長ナルヲ以テ葉細
 の木乎、しいどきは其意未詳。漢名 贖八樹 (誤用)

第 1019 圖



のぶだう (蛇葡萄)
Ampelopsis heterophylla
Sieb. et Zucc.

到ル所ノ山野ニ多ク生ズル落葉攀緣藤本
 ニシテ莖ハ長ク成長シ、巨大ナル者ハ直
 徑凡4cmニ達シ、節アリテ稍之曲シ、褐色
 皮アリ。葉ハ有柄互生シ、略ボ圓形ニシテ
 底部心臟形ヲ呈シ、三裂乃至五裂シ、或ハ
 深裂スル者アリ、鋸齒ヲ有シ、無毛或ハ裏
 面有毛ナリ。卷鬚ハ葉ニ對シテ出デ兩岐
 ス。夏月、有梗ノ聚繖花穂ヲ葉ニ對出シ、
 兩岐シテ綠色多數ノ兩性小花ヲ攢着ス。
 萼ハ殆ド截形。五花瓣、五雄蕊、一雌蕊ア
 リ、花盤ヲ有ス。漿果ハ小球形、白・紫・碧
 色ヲ呈シ、敢テ食ニ中ラズ。和名ハ野ニ
 在ル葡萄ノ意、又野葡萄ノ漢名アリ。

第 1020 圖



びやくれん (白薺)

一名 かがみぐさ
Ampelopsis japonica Makino.
 (= *A. serjaniaefolia* Bunge.)

支那原産ノ攀緣蔓本ニシテ葉ニ對生セル
 卷鬚ヲ有シ、莖ハ冬月ハ枯ル。根ハ塊ワ成
 シ、卵形ニシテ數顆束在ス。葉ハ有柄互
 生シ、掌狀ニ五全裂、最外ノ裂片ハ小形ニ
 シテ三裂シ、次列竝ニ中央小葉ハ羽狀或
 ハ掌狀裂ヲ成シ、裂片ハ楔形ニシテ通常
 粗齒ヲ有ス、葉軸ハ有翼ニシテ節アリ。
 有梗ノ聚繖花穂ハ葉ニ對生シ、夏月淡黃
 色ノ兩性小花ヲ攢簇シテ開ク。萼ハ五齒
 形。五花瓣、五雄蕊、一雌蕊、一花盤アリ。
 漿果ハ小球形ニシテ白・紫・碧色ヲ呈ス。
 根ヲ藥用トス。享保年中ニ渡來ス。

うごかつら

Ampelopsis leeoides Planch.

我邦南方暖地ニ生ズル落葉藤本ニシテ其
 蔓長ク延ビ、徑2cm許ノ太サト成リ、往々
 氣根ヲ垂ル。兩岐セル卷鬚アリテ葉ト對
 生ス。葉ハ有柄互生シ、大形ニシテ羽狀
 或ハ再羽狀複葉ヲ成シ、小葉ハ卵形或ハ
 長卵形ヲ呈シテ尖リ、葉緣ニ粗鋸齒アリ。
 夏月、莖頂ニ聚繖花穂ヲ成シテ綠黄色ノ
 兩性小花ヲ集メ着ク。萼ハ五齒ヲ成シ、
 五花瓣、五雄蕊、一雌蕊、一花盤アリ。漿
 果ハ小球形ニシテ赤熟ス。和名ハ其葉う
 どノ葉ニ似タルヨリ名ク。

第 1021 圖

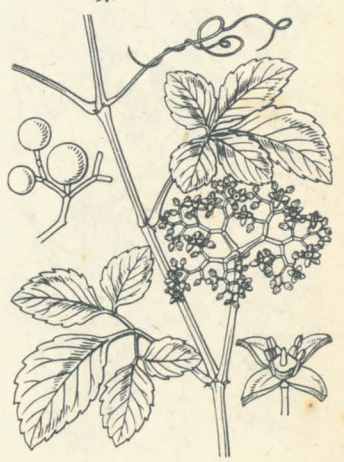


やぶがらし (烏薺莓)

一名 びんばふかつら
Cissus japonica Willd.

隨處ニ多ク多年生攀緣草本ニシテ毛ナ
 ク、地下莖ハ織ンニ長ク地中ニ横走シ處
 々ニ萌出ス。綠紫色ノ莖ハ稜アリテ縦マ
 マニ他ノ草木上ニ蔓延シ、之レヲ覆フニ
 至ル。葉ト對生セル卷鬚アリ。葉ハ有柄
 互生シ、鳥趾狀複葉ニシテ質軟ナリ、五小
 葉アリテ短柄ヲ有シ、卵形或ハ長卵形ニ
 シテ粗鋸齒アリ、中央小葉ハ他ヨリ大ナ
 リ。夏月、有梗ノ繖房様聚繖花ヲ葉ニ對
 シテ出シ、第一枝ハ三岐シ、多數ノ淡綠小
 花ヲ集メ開ク。萼ハ截形。四花瓣、四雄
 蕊、一雌蕊アリテ花盤ハ丹赤色ナリ。漿
 果ハ球形ニシテ黒熟ス。和名ハ薺枯シニ
 テ盛ニ繁茂シ、薺ヲ枯スノ意。貧乏蔓ハ他
 ノ植物ノ上ニ繁リテ之レヲ枯死セシメ、
 其家爲メニ貧乏ト成ルノ意ナリ。

第 1022 圖



つた (常春藤)

一名 なつづた 古名 あまづら
Parthenocissus tricuspidata Planch.

日本及ビ支那ノ産ニシテ岩壁・石垣・壁面・山林
 等ニ生ズル落葉攀緣藤本ニシテ、莖ノ經舊巨大
 ナル者ハ徑凡4cm許ニ達スルアリ。卷鬚ハ葉ニ
 對シテ出デ、小形ニシテ分枝シ、枝端ニ圓形吸盤
 フ具ヘ他物ニ吸着シテ離レズ。葉ハ鋸齒アリテ
 有柄互生シ、長枝ノ者ハ卵形、或ハ二、三裂シ、或
 ハ三小葉複葉ヲ成シ、短枝ノ者ハ三裂シテ裂片
 尖リ、葉柄殊ニ長ク、短枝端ニ二葉アリ。秋落葉
 ノ際ハ葉片先づ落チ、後チ葉柄落ツ。夏日、短花
 穂ヲ短枝端ニ出シ、黄綠色ノ兩性小花ヲ集着ス。
 萼ハ截形。花瓣五片、雄蕊五、雌蕊一。漿果ハ小
 球形ニシテ紫黑色ニ熟シ、落葉尙殘存ス、食用
 トナラズ。往昔此幹ノ液汁ヲ採リ、甘味料ヲ製
 セリ。葉ハ秋ニ紅葉ス、所謂つたもみぢナリ。
 薦ヲ此種ニ用ウルハ非ナリ、又地錦ノ漢名モ中
 ラズ。和名つたハ傳フノ意ト謂ハル。

第 1023 圖

